

平成31年度

定期総会議案書

日時 平成31年4月20日(土) 午後1時

場所 武蔵野公会堂 ホール

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

平成31年度 定期総会次第

- 1 開会のことば 官野 良一 (青 梅 市)
- 2 会長あいさつ 宇佐見 義尚 (武蔵野市)
- 3 来賓あいさつ 渡邊 一衛 氏 武蔵野市教育委員会教育委員
梶野 光信 氏 東京都教育庁地域教育支援部
- 4 表 彰 東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰
- 5 議 長 選 出
- 6 議 事 第1号議案 平成30年度事業報告について
第2号議案 平成30年度一般会計収入支出決算
及び会計監査報告について
第3号議案 平成31年度事業計画(案)について
第4号議案 平成31年度一般会計収入支出予算(案)
について
第5号議案 平成33(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大
会東京大会実行委員会設置要綱(案)について
第6号議案 東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則の一
部を改正する会則(案)について
第7号議案 平成31年度役員(案)について
第8号議案 平成32(2020)年度(一社)全国社会教育委員連
合会費及び『社教情報』について
- 7 退任あいさつ 宇佐見 義尚 (武蔵野市)
- 8 新会長より新役員紹介、新会長あいさつ
- 9 閉会のことば 吉澤 良保 (三 鷹 市)

【社会教育委員研修会】

講演会

演 題 「被災地(紛争地)で見た地域のつながり」

講 師 フォトジャーナリスト 安田 菜津紀(やすだ なつき)様

平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会被表彰者名簿(案)

感謝状 15 名

(敬称略)

| ブロック | 氏名 | 市町名 | ブロック | 氏名 | 市町名 |
|--------|-------------------|-------|--------|--------------------|------|
| 第1ブロック | コバナ 紀彦 小花 紀彦 | 青梅市 | 第4ブロック | キシタ 伸子 木下 伸子 | 西東京市 |
| | マエ 里恵 前 里恵 | 福生市 | | イワサキ 久美子 岩崎 久美子 | 西東京市 |
| 第2ブロック | マカベ 繁樹 眞壁 繁樹 | 立川市 | | スマモト 禧一 沼本 禧一 | 西東京市 |
| | クリイワ 淳一 栗岩 淳一 | 武蔵村山市 | | ハツリ 雅子 服部 雅子 | 西東京市 |
| 第3ブロック | ミヤザキ 寛康 宮崎 寛康 | 日野市 | 第5ブロック | キウチ 直美 木内 直美 | 府中市 |
| | カゲヤマ 輝國 影山 輝國 | 日野市 | | オヤマダ 佳代 小山田 佳代 | 小金井市 |
| | ムコウヤマ 千代 向山 千代 | 稲城市 | | イシダ 静子 石田 静子 | 小金井市 |
| | スミタニ 晃男 炭谷 晃男 | 多摩市 | | | |

第1号議案 平成30年度事業報告について

○このことについて、次のとおり報告し、承認を求める。

1 会議等

| No. | 項目 | 参加者 (人) | テーマ・内容 |
|-----|--|--------------------------------------|--|
| 1 | 定期総会 開催日：4月21日(土) 時間：13:30～15:00 会場：立川市女性総合センター(アイム) | 委員 140 委任状 142 事務局 57 | (1)29年度事業報告 (2)29年度決算及び監査報告 (3)30年度事業計画 (4)30年度予算審議 (5)30年度役員の選出・承認 |
| 2 | 社会教育委員研修会 開催日：4月21日(土) 時間：15:10～16:30 会場：同上 | | 「人生100歳時代を生きる子どもたちのために―地域学校協働活動と社会教育の役割―」 講師：東京大学大学院教育学研究科 牧野 篤 氏 |
| 3 | 第1回役員会・拡大役員会 開催日：5月22日(火) 時間：13:30～15:00 会場：武蔵野プレイス4階 フォーラム | 20 | (1)報告事項 3件 (2)協議事項 ①事業日程について ②ブロック研修会について ③(一社)全国社会教育委員連合 社会教育委員の表彰者推薦について |
| 4 | 第2回役員会・拡大役員会 開催日：7月24日(火) 時間：13:30～14:30 会場：武蔵野スイングホール スカイルーム | 20 | (1)報告事項 4件 (2)協議事項 ①ブロック研修会について ②交流大会・社会教育委員研修会について |
| 5 | 第1回理事会 開催日：7月24日(火) 時間：15:00～16:00 会場：武蔵野スイングホール スカイルーム | 58 | (1)報告事項 4件 (2)協議事項 ①ブロック研修会について ②交流大会・社会教育委員研修会について |
| 6 | 第3回役員会・拡大役員会 開催日：10月23日(火) 時間：13:30～15:00 会場：武蔵野スイングホール スカイルーム | 21 | (1)報告事項 3件 (2)協議事項 ①交流大会・社会教育委員研修会について ②交流大会への一般市民等の参加について ③社会教育委員活動記録編集について (3)その他 ・平成33年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会準備会について |

| No. | 項 目 | 参加者 (人) | テーマ・内 容 |
|-----|--|------------|---|
| 7 | 第3ブロック研修会 幹 事：八王子市 開催日：9月29日(土) 時 間：14:15～17:00 会 場：コニカミノルタサイエンスドーム (八王子こども科学館) | 50 | テーマ：知の共鳴～「学ぶこと」「つながること」その先へ ・講演、館内見学及びプラネタリウム鑑賞 |
| 8 | 第4ブロック研修会 幹 事：東久留米市 開催日：10月6日(土) 時 間：13:00～16:00 会 場：柳泉園組合 | 43 | テーマ：私たちが排出している家庭ごみについて ・講演会 ・見学会 ・各市発表 |
| 9 | 第1ブロック研修会 幹 事：瑞穂町 開催日：10月14日(日) 時 間：13:45～16:40 会 場：瑞穂町郷土資料館けやき館 | 50 | テーマ：地域の特性を生かした社会教育事業 ・ブロックテーマに則り、講演会、施設見学、事前アンケートの発表 |
| 10 | 第2ブロック研修会 幹 事：国立市 開催日：10月21日(日) 時 間：13:30～16:00 会 場：国立市公民館地下ホール | 56 | テーマ：しょうがいをこえて共に生きる ・第一部：事例発表 ・第二部：意見交換会 |
| 11 | 第5ブロック研修会 幹 事：府中市 開催日：10月27日(土) 時 間：14:00～16:50 会 場：ル・シーニュ内府中市市民活動センタープラッツ5階バルトホール | 50 | テーマ：人生100年時代の学びと地域のつながり ・府中囃子の披露、講演会、施設説明及び見学 |
| 12 | 交流大会 開催日：12月15日(土) 時 間：13:45～15:00 会 場：武蔵野公会堂ホール | 176 | テーマ：知の共鳴～「学ぶこと」「つながること」その先へ ・式典 ・ブロック研修会実施報告 |
| 13 | 社会教育委員研修会 開催日：12月15日(土) 時 間：15:10～16:45 会 場：同上 | | 「きょういく(教育)」「きょうよう(教養)」で元気になる～今日行くところは、今日幼児があるところは～ 講師：ヘルスプロモーション推進センター(オフィスいわむろ)代表 岩室 紳也氏 |

| No. | 項 目 | 参加者 (人) | テーマ・内 容 |
|-----|---|------------|--|
| 14 | 第4回役員会 開催日：1月22日(火) 時 間：13:30～15:30 会 場：武蔵野スイングホール スカイルーム | 10 | (1)報告事項 1件 (2)協議事項 ①活動記録 実践事例について ②都市社連協表彰について ③31年度統一テーマ(案)について ④31年度事業計画・役員(案)について ⑤31年度都市社連協予算(案)について ⑥33年度関東甲信越静社会教育研究大会について ⑦交流大会への市民等の参加について |
| 15 | 第5回役員会 開催日：2月26日(火) 時 間：13:30～14:00 会 場：武蔵野スイングホール レインボーサロン | (9) | (1)協議事項 ①33年度関東甲信越静社会教育研究大会について ②31年度定期総会について |
| 16 | 第2回理事会 開催日：2月26日(火) 時 間：14:30～16:30 会 場：武蔵野スイングホール レインボーサロン | (60) | (1)報告事項 1件 (2)協議事項 ①都市社連協表彰について ②31年度統一テーマについて ③33年度関東甲信越静社会教育研究大会について ④31年度定期総会について ⑤交流大会への市民等の参加について |

2 その他

| No. | 項 目 | 内 容 |
|-----|--|--|
| 1 | 第60回全国社会教育研究大会青森大会 10月24日(水) ～26日(金) リンクステーションホール青森 | スローガン 社会教育の新たな種を広めよう 青い森から全国に 研究主題 課題をチャンスに 持続可能な未来を創る社会教育の実践を 参加者 9人 |
| 2 | 第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会 11月15日(木) ～16日(金) ホクト文化ホール | 大会テーマ 信州で 出合い・ふれあい・学びあい ～皆で語ろう 地域づくりは人づくり～ 参加者 76人 |
| 3 | (一社)全国社会教育委員連合表彰 | 受賞者 土田 士朗 氏 (東村山市) 第60回全国社会教育研究大会青森大会において表彰 |
| 4 | 「社会教育委員活動記録」の作成 | ブロック活動報告 交流大会・社会教育委員研究大会報告 |

第2号議案 平成30年度一般会計収入支出決算及び会計監査報告について

○このことについて、次のとおり報告し、承認を求める。

平成30年度一般会計収入支出決算

1 収 入

(単位：円)

| 区分 科目 | 平成30年度 当初予算額 (a) | 平成30年度 決算額 (b) | 増△減 (b-a) | (参考) 決算額比較 | | 備 考 |
|----------|------------------------|------------------------|--------------|------------------------|--------------|----------------------------------|
| | | | | 29年度 決算額 (c) | 増△減 (b-c) | |
| 分 担 金 | 725,000 | 725,000 | 0 | 725,000 | 0 | 25,000×29市町 |
| 繰 越 金 | 601,110 | 601,110 ※29年度からの繰越金 | 0 | 518,590 ※28年度からの繰越金 | 82,520 | 前年度からの繰越金 |
| 雑 収 入 | 26,000 | 29,453 | 3,453 | 28,806 | 647 | 社教情報売上手数料 29,448 預金利息 5 |
| 合 計 | 1,352,110 | 1,355,563 | 3,453 | 1,272,396 | 83,167 | 30年度 繰越金を除く決算額 754,453 |

2 支 出

(単位：円)

| 区分 科目 | 平成30年度 当初予算額 (a) | 平成30年度 決算額 (b) | 増△減 (b-a) | (参考) 決算額比較 | | 備 考 |
|--------------------|------------------------|----------------------|--------------|--------------------|-----------------|---|
| | | | | 29年度 決算額 (c) | 増△減 (b-c) | |
| 定期総会費 | 39,200 | 33,802 | △5,398 | 86,107 | △52,305 | 消耗品等 17,224 会場使用料 0 議事録作成 16,578 |
| 理 事 会 役員会費 | 86,164 | 58,668 | △27,496 | 0 | 58,668 | 議事録作成 57,348 消耗品等 1,320 |
| 交流大会費 | 44,400 | 10,000 | △34,400 | 79,350 | △69,350 | 会場使用料 0 消耗品等 10,000 |
| ブロック 活動費 | 300,000 | 230,094 | △69,906 | 300,000 | △69,906 | 第1ブロック：26,876 第2ブロック：55,145 第3ブロック：48,742 第4ブロック：39,331 第5ブロック：60,000 |
| 活動記録等 作成費 | 240,100 | 240,030 | △70 | 23,846 | 216,184 | 印刷製本代 240,030 |
| 分 担 金 | 71,000 | 70,540 | △460 | 70,864 | △324 | (一社)社教連分担金 振込手数料 |
| 総 務 費 | 70,000 | 26,544 | △43,456 | 27,119 | △575 | 役員行動助成 10,000 通信運搬費 11,220 消耗品等 5,324 |
| 調 査 研 究 ・ 研 修 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 84,000 | 16,000 | 講師謝礼 社会教育委員研修会70,000 30年度定期総会30,000 |
| 積 立 金 | 100,000 | 100,000 | 0 | 0 | 100,000 (皆増) | 30年度 33(2021)年度関東甲信 越静社会教育研究大会 |
| 予 備 費 | 301,246 | 0 | △301,246 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 1,352,110 | 869,678 | △482,432 | 671,286 | 198,392 | |

3 総収支決算

一般会計分
(収 入) (支 出) (差引残高)
1,355,563 円 — 869,678 円 = 485,885 円

485,885 円は、平成 31(2019)年度へ繰越します。
総支出額 869,678 円のうち平成 30 年度積立金 100,000 円は、平成 31 年度収入の
積立繰入金として繰入れます。

○上記のとおり報告します。

平成 31(2019)年 4 月 20 日

東京都市町村社会教育委員連絡協議会
会長 宇佐見 義尚
会計 北村 淳子

会計監査報告

平成 30 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会の
会計について監査の結果、執行状況に相違ないことを
確認しました。

平成 31(2019)年 4 月 4 日

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

会計監査

荒川 進

会計監査

佐友和



議案第3号 平成31(2019)年度事業計画(案)について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

平成31(2019)年度事業計画(案)について

◎統一テーマ 「学びと活動の循環をつくる
～「つながり」と「地域課題の解決」を促す社会教育の推進～」

1 会議等

| No. | 項目 | 時期・回数 | 会場 | 内容 |
|-----|---------------|--|---|--------------------------|
| 1 | 定期総会 | H31(2019).4.20(土) | 武蔵野公会堂 ホール | 事業・決算報告 事業案・予算案 表彰 |
| 2 | 理事会 | 2回 H31(2019).7.23(火) H32(2020).2.18(火) | 三鷹市公会堂さんさん館 (3階) 多目的会議室A | 総会付議事項・ブロック 活動実施計画等審議 |
| 3 | 拡大役員会 | 3回 H31(2019).5.21(火) H31(2019).7.23(火) H31(2019).10.29(火) | 三鷹市公会堂さんさん館 (4階) 第4・5・6会議室 | ブロック活動・交流大会 実施計画等審議 |
| 4 | 役員会 | 5回 H31(2019).5.21(火) H31(2019).7.23(火) H31(2019).10.29(火) H32(2020).1.21(火) H32(2020).2.18(火) | 三鷹市公会堂さんさん館 (4階) 第4・5・6会議室 ※H32(2020).2.18(火)のみ 第1・2・3会議室(同館3階) | 理事会付議事項等審議 |
| 5 | ブロック活動 | | ①日の出町 ②国分寺市 ③多摩市 ④清瀬市 ⑤調布市 | 5.ブロックで実施 |
| 6 | 交流大会 全体研修会 | H31(2019).12.14(土) | 三鷹市公会堂 光のホール | ブロック研修報告他 |

2 「社会教育委員活動記録」の作成

3 社会教育研究大会への参加

・第61回全国社会教育研究大会 兵庫大会

期 日 平成31(2019)年10月23日(水)～25日(金)

会 場 神戸ポートピアホテル・ポートピアホール 他
(兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1)

スローガン 学びと実践の収穫祭 ごこく豊穰 in ひょうご

研究主題 多様性を認め合う、豊かな地域社会のための社会教育の実践

・第50回関東甲信越静社会教育研究大会 埼玉大会

期 日 平成31(2019)年11月7日(木)～8日(金)

会 場 ウェスタ川越(埼玉県川越市新宿町1-17-17)

スローガン 今、時代が変わる、人が変わる、そして社会が変わる!

研究主題 あなたがどう生きる? 人生100年時代!

～主役はあなた 明るく心豊かな社会の実現～

4 東京都教育委員会との連携・協力の推進

第4号議案 平成31(2019)年度一般会計収入支出予算(案)について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

平成31(2019)年度一般会計収入支出予算(案)

1 収 入

(単位:円)

| 区分 科目 | 平成31年度 当初予算額 (a) | (参考) 平成30年度 予算額 (b) | 増△減 (a-b) | (参考) 平成30年度 決算額 | 備 考 |
|----------|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------|-----------------------|-------------------------------|
| 分 担 金 | 725,000 | 725,000 | 0 | 725,000 | 25,000×29市町 |
| 繰 越 金 | 485,885 <small>※30年度からの繰越金</small> | 601,110 <small>※29年度からの繰越金</small> | △115,225 | 601,110 | 前年度からの繰越金 |
| 積立繰入金 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 平成33(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会積立金 |
| 雑 収 入 | 26,000 | 26,000 | 0 | 29,453 | 社教情報売上手数料 預金利息 |
| 合 計 | 1,336,885 | 1,352,110 | △15,225 | 1,355,563 | 31年度 繰越金を除く予算額 851,000 |

2 支 出

(単位：円)

| 科目 | 区分 | (参 考) | | | 備 考 | |
|--------------------|----|--------------------------|--------------------------|----------------|---------|---|
| | | 平成 31 年度 当初予算額 (a) | 平成 30 年度 予 算 額 (b) | 増△減 (a - b) | | 平成 30 年 度決算額 |
| 定期総会費 | | 154,200 | 39,200 | 115,000 | 33,802 | 会場使用料 115,000 議事録作成 16,200 消耗品等 23,000 |
| 理 事 会 役 員 会 費 | | 157,300 | 86,164 | 71,136 | 58,668 | 議事録作成 147,300 消耗品等 10,000 |
| 交流大会費 | | 82,150 | 44,400 | 37,750 | 10,000 | 会場使用料 0 議事録作成 57,750 消耗品等 24,400 |
| ブ ロ ッ ク 活 動 費 | | 300,000 | 300,000 | 0 | 230,094 | 60,000×5 ブロック |
| 活動記録等 作 成 費 | | 35,000 | 240,100 | △205,100 | 240,030 | 紙代 25,000 消耗品等 10,000 |
| 分 担 金 | | 71,000 | 71,000 | 0 | 70,540 | (一社) 社教連分担金 |
| 総 務 費 | | 50,000 | 70,000 | △20,000 | 26,544 | 役員行動助成金 10,000 通信運搬費 15,000 消耗品等 25,000 |
| 調 査 研 究 ・ 研 修 費 | | 100,000 | 100,000 | 0 | 100,000 | 講師謝礼 交流大会 70,000 31年度定期総会 30,000 |
| 特 別 会 計 繰 出 金 | | 200,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 30年度新設(積立金) 33年度関東甲信越静社会 教育研究大会 |
| 予 備 費 | | 187,235 | 301,246 | △114,011 | 0 | |
| 合 計 | | 1,336,885 | 1,352,110 | △15,225 | 869,678 | 31年度 予備費を除く予算額 1,149,650 |

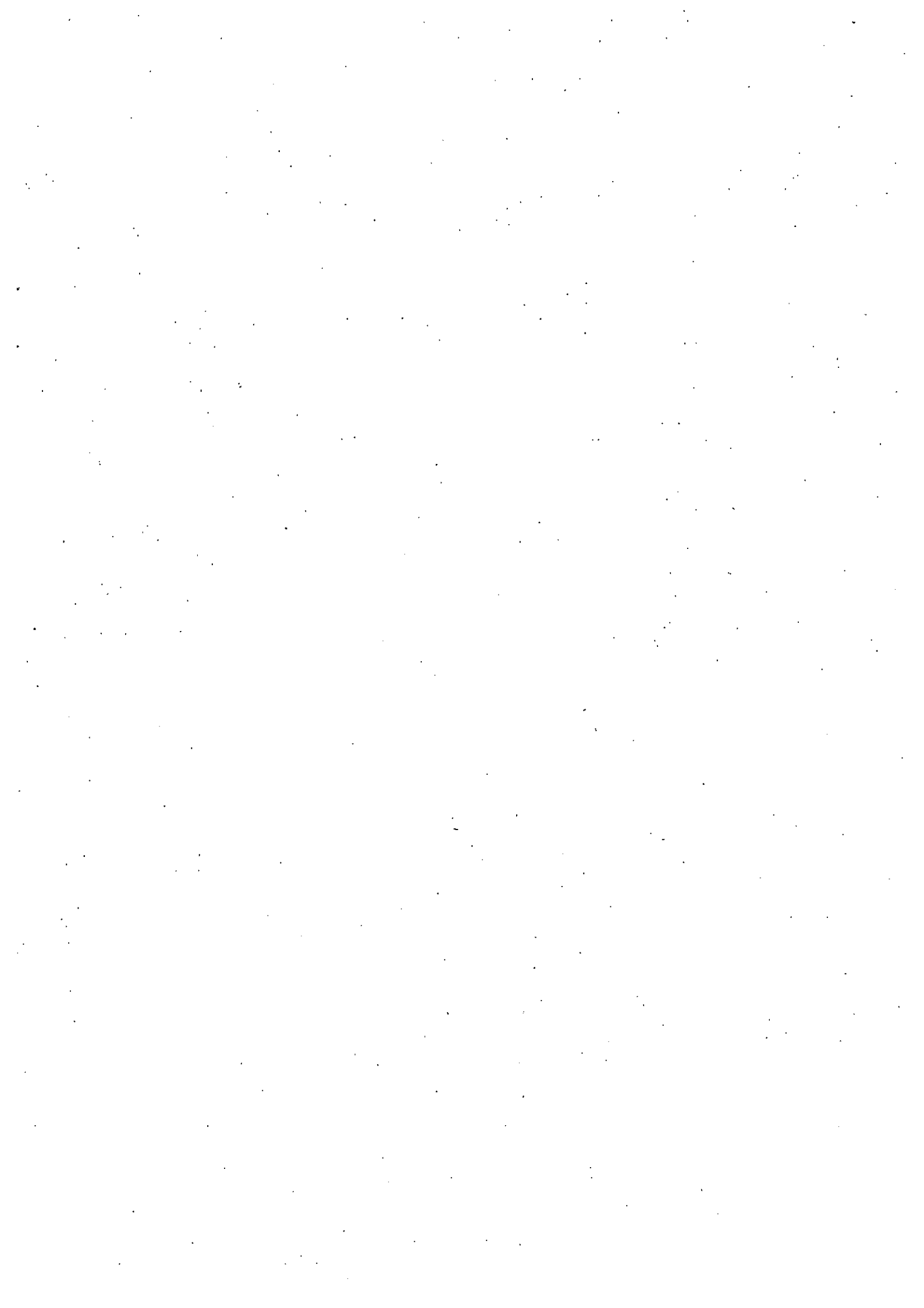
平成31(2019)年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会当初予算
【特別会計】(案)

1 収入の部

| | 31年度 当初予算案 (A) | 備 考 | 30年度比 増減額 (A-B) | 30年度 当初予算額 (B) | 30年度 決算額(見込) (C) |
|-----|----------------------|-------------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|
| 参加費 | 0 | 参加費3,500円×〇人 | 0 | 0 | 0 |
| 負担金 | 0 | 都：〇円、社教連〇円 | 0 | 0 | 0 |
| 繰入金 | 200,000 | 毎年100,000円を積立分 (30年度・31年度) | 200,000 | 0 | 0 |
| 繰越金 | 0 | 前年度繰越金 ※32年度から | 0 | 0 | 0 |
| 広告代 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 雑収入 | 0 | 弁当代等 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 200,000 | | 200,000 | 0 | 0 |

2 支出の部

| | 31年度 当初予算案 (A) | 備 考 | 30年度比 増減額 (A-B) | 30年度 当初予算額 (B) | 30年度 決算額(見込) (C) |
|------------------|----------------------|---|-----------------------|----------------------|------------------------|
| 報償費 | 0 | 講師(基調講演) 0 シンポジウム 0 アトラクション 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旅費 | 0 | 講師 0 実行委員会、事務局 0 | 0 | 0 | 0 |
| 印刷費 | 0 | 大会要項 0 大会資料 0 大会報告書 0 大会袋、案内状他 0 | 0 | 0 | 0 |
| 食糧費 | 0 | 昼食弁当 0 お茶等 0 | 0 | 0 | 0 |
| 宿泊費 | 0 | 実行委員 0 | 0 | 0 | 0 |
| 会場費 | 0 | 府中の森芸術劇場 0 ルミエール府中 0 | 0 | 0 | 0 |
| 看板代 | 0 | 舞台製作費 0 | 0 | 0 | 0 |
| 通信費 | 0 | 電話代、振込手数料、 郵送代等 0 | 0 | 0 | 0 |
| 諸雑務 | 0 | 事務手数料 0 スタッフジャンパー 0 | 0 | 0 | 0 |
| (新潟大会プロモーション準備費) | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 実行委員会費 | 25,000 | 会場使用料 0 議事録作成 0 消耗品等 25,000 | 25,000 | 0 | 0 |
| 予備費 | 175,000 | | 175,000 | 0 | 0 |
| 合 計 | 200,000 | | 200,000 | 0 | 0 |



第5号議案 平成33(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会設置要綱(案)について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

平成33(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会設置要綱 (案)

(設置)

第1条 平成33(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会の円滑な運営と効果的な実施に資するため、平成33(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、平成33(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会に係る次の事項を所掌する。

- ① 企画運営に関すること。
- ② 事業決定に関すること。
- ③ 予算決算に関すること。
- ④ その他円滑な運営と効果的な実施のために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、東京都市町村社会教育委員連絡協議会(以下「協議会」という。)における平成33(2021)年度拡大役員会役員、ブロック幹事及び平成30年度から32(2020)年度会長市合わせて10名程度で組織する。

2 委員の任期は、事業承認の年度に始まり当該事業の終了した年度をもって終わる。

(役員)

第4条 委員会に、次の役員を置く。役員は、委員会において互選する。

- ① 委員長 1名
- ② 副委員長 2名

(役員の職務)

第5条 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、あらかじめ定めた順番によりその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の会議は、次の事項を審議し、決定する。

- ① 平成33年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会の運営計画等に関すること。

- (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (3) 共催事業の承認に関すること。
- (4) 協賛事業の承認に関すること。
- (5) 予算及び決算に関すること。
- (6) その他委員会の運営に関し必要な事項

(事務局)

第7条 委員会の事務局を委員長の所属する市町村内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成31年4月20日から施行する。

第6号議案 東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則の一部を改正する会則（案）について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則の一部を改正する会則（案）

東京都市町村社会教育委員連絡協議会会則（昭和62年4月5日施行）の一部を次のように改正する。

次の表中、改正前の欄の下線が引かれた部分については、それぞれ対応する説明の欄に掲げる改正を行い、改正後の欄の下線が引かれた部分とする。

次の表中、改正前の欄又は改正後の欄にのみ下線が引かれた部分については、それぞれ対応する説明の欄に掲げる改正を行う。

| 改正前 | 改正後 | 説明 |
|--|--|--------------------------------|
| (経費) 第11条 協議会の経費は、分担金、補助金、寄付金、その他の収入をもってあてる。 2 分担金の額は25,000円とする。 | (会計) 第11条 協議会の経費は、分担金、補助金、寄付金、その他の収入をもってあてる。 2 分担金の額は25,000円とする。 <u>3 協議会は、必要があると認める</u> <u>ときに特別会計を設けることができる。</u> | 字句の改正 字句の追加 |

付 則
(施行期日)

1 この会則は、平成31年4月20日から適用する。



議案第7号 平成31(2019)年度役員(案)について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

1 会長・副会長・会計

| 役職名 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|-----|-------|-----|----|
| 会長 | 田中 雅文 | 三鷹市 | |
| 副会長 | 宮野 良一 | 青梅市 | |
| | 長畑 誠 | 府中市 | |
| 会計 | 吉澤 良保 | 三鷹市 | |

2 理事

| | | |
|----|--------------------|------|
| 理事 | 会長市2名、他市町(28市町)各1名 | 計30名 |
|----|--------------------|------|

3 会計監査

| 役職名 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|------|-------|-------|----|
| 会計監査 | 島澤 良次 | 清瀬市 | |
| | 荻野 寛 | 東久留米市 | |

4 ブロック幹事

| ブロック | 議長氏名 | 幹事市町名 | 備考 |
|------|--------|-------|----|
| 1 | 須藤 芳正 | 日の出町 | |
| 2 | 粕谷 チヅル | 国分寺市 | |
| 3 | 炭谷 晃男 | 多摩市 | |
| 4 | 島澤 良次 | 清瀬市 | |
| 5 | 篠崎 光正 | 調布市 | |

平成 31(2019)年度～33(2021)年度の役員輪番表

| 役 職 名 | 平成 31(2019)年度 | 平成 32(2020)年度 | 平成 33(2021)年度 |
|---------|---------------|---------------|---------------|
| 会 長 | 三 鷹 市 | 青 梅 市 | 府 中 市 |
| 副 会 長 | 青 梅 市 | 府 中 市 | 昭 島 市 |
| | 府 中 市 | 昭 島 市 | 調 布 市 |
| 会 計 | 三 鷹 市 | 青 梅 市 | 府 中 市 |
| 会 計 監 査 | 東久留米市 | 武蔵村山市 | 羽 村 市 |
| | 清 瀬 市 | 多 摩 市 | 稲 城 市 |

○ 輪番について

- (1) 市制施行順とする。
- (2) 平成 6 年度から副会長を 2 年間務めた市が会長市となる。
- (3) 町が輪番の時は、副会長を 1 年務める。この場合、副会長は市と町で務め、市は翌年会長市になる。
- (4) 定期総会の議長は、前年度会長市が務める。
- (5) 会長市と会計監査が重複して務めることはできない。

議案第8号 平成32(2020)年度(一社)全国社会教育委員連合会費及び『社教情報』 について

- このことについて、次ページの通り共有し、分担金及び『社教情報』の値上げについて認めないことを提案し、承認を求める。

(一社) 全国社会教育委員連合の今後の運営についての検討事項

(一社) 全国社会教育委員連合(以下「社教連」という)の運営方法についてはこれまでも社教連総会において繰り返し協議がなされ、平成30年度第1回社教連総会では今後は収入に見合った運営を検討していくとの決定がなされた。

しかし、平成31年3月1日(金)に開催された第3回総会では、社教連は必要な経費削減は最大限行っていると前提があった上で、今後は収支が成り立つ見込みがないことから平成32(2020)年度に会費の値上げ、また平成32(2020)年2月号『社教情報』の値上げを行うとの説明があった。

これを受けて、30都市社連協発第63号にて各理事に意見を聴取した。結果については次ページの通り。全社連の説明は不十分であり、収入や支出について改善の余地が見られる。また値上げをした場合、平成33(2021)年度には関東甲信越静社会教育研究大会が控えており、予備費からの支出が困難である。しかし、都市社連協の会費を値上げして対応することは、必ずしも全ての市町で可能ではない。

そのため、次回の平成31(2019)年度第1回総会(平成31(2019)年5月17日予定)で、社教連に対する都市社連協の意見として分担金及び『社教情報』の値上げについて認めないことを提案する。

| ブロック | 市町名 | 回答 | 理由 |
|--------|-------|---|--|
| 第一ブロック | 青梅市 | A | 社教連会費の値上げはやむを得ないが、今後も関東甲信越静社会教育研究大会の特別会計への拠出を行っていくことを考えると、予備費から繰り出すことは困難と考える。そのため、各市で1,000円ずつ値上げして対応することとしたい。しかし、当面の間は値上げをしないこととしたい。 |
| | 福生市 | A | Bの対応では予備費が減少し、今後また別の対応が必要になることが予想される。そのため、Aの対応が良いのではないかと考えたため。 |
| | 羽村市 | B | 社教連総会資料を見ると、社教連における経費削減も限界であることから、社教連会費の値上げは認めざるを得ない。一方で、都市社連協会費の値上げについては、各自治体で財政状況が異なり対応することは難しいので、B案が適当ではないかと考える。 |
| | あきる野市 | C | ただし、不足分を予備費により充て続けることは、今後の都市社連協の財政状況の悪化を招く恐れがあるので、ブロック活動費の削減といった経費削減を検討する必要がある。 |
| | 瑞穂町 | B | 経費の削減ができていなければ、支出を考えると収入がないのに支出が同じであれば、会費の値上げをしても一時減額である(全国大会の隔年実施等を考えるべき)。 |
| | 奥多摩町 | A | 社連協の事情は考慮すべきだが、都市社連協への負担金増額は財政事情により難しいため |
| 第二ブロック | 目黒区 | D | 必要な経費削減は最大限行っているとの事であれば、値上げはやむを得ない。 |
| | 立川市 | B | 社教連総会で会費値上げについて、どのような説明があったのか、資料だけでは具体的な内容が読み取れないので、回答は控えさせていただきます。 |
| | 昭島市 | A | まず、本件の一番の論点(前提)である「社教連会費の値上げに正当性があるかどうか」について、社教連から現在の収入に見合った事業規模に縮小することができない正当な理由が示されていない(少なくとも、そのような情報が立川市の手元にはない)状況にあっては、社教連会費の値上げには積極的に賛成できない(C)。 |
| | 昭島市 | A | その上で、値上げがあった場合に都市社連協としてどのように対応するかについて、仮に意見を述べるとするならば、都市社連協会費の値上げ(A)の案に対して、立川市の予算確保を約束できない。予備費を充当して予算を編成する(B)ことは当面は可能と思われる。よってBが妥当であると考えます。 |
| | 昭島市 | A | とはいう社教連、都市社連協ともに楽観的な財政状況でないことは会長市を経験したことからも理解している。社教連にどのような意見を述べるとするかについては、都市社連協役員及び理事の総意に従う。 |
| | 昭島市 | A | A、または、Bのどちらでもよいという意味で両方に丸をしました。 |
| 第三ブロック | 昭島市 | A | ただし、「経費削減を前提に」とのことですが、総会資料ではどのように削減をしたのか不明で、その内容の説明がありません。このことを前提に認めること自体に問題があると思えます。お金が足りないから値上げするといった安易な方法を取ると、今後同様の事態になれば、「値上げすればいい」ということになってしまいます。そこで、研究大会の開催など一度すべての事業を凍結してでも経費の執行についてしっかり検証していただき、その説明を求めます。 |
| | 国分寺市 | B | 理由なし |
| | 国立市 | B | 人件費などについては大幅な削減をしているので、これまでと同様の事業を行うのであれば社教連会費の値上げはやむを得ないと考えます。ただし、社教連会費が上がる社教連からの脱退などに繋がり、逆に収入が減ってしまう可能性も否定できないため、各事業の必要性・支出の用途をより詳細に情報公開し、引き続き収入に見合った運営を検討していただきたい。 |
| | 東大和市 | | 意見なし |
| | 武蔵村山市 | A | また、平成23~29年度の7年間の決算において、予備費が約7~57万円程度設けられているものの、いずれも決算額が0円であることから、まずは予備費を充てることをご検討いただきたい。 |
| | 武蔵村山市 | A | 都市社連協会費1,000円の値上げであれば、予算要求が通ると思われるが、市の財政状況が大変厳しい中、わずか1,000円でも拠出するのは容易でない。もし今後、全国社会教育連合が資金難のために会費のさらなる値上げを要求し、それが自治体の負担につながるようであれば、全国社会教育連合のあり方を再見直すべきだと考える。また、社会教育を推進する上で、全国社会教育連合の役割は大きいと思うので、全国社会教育連合には存続に向けてコスト削減に努めてもらい、自治体の負担がかけないように努力してほしい。 |
| 第四ブロック | 八王子市 | B | 予算案を確認する中で、予備費で社教連会費値上げ分を捻出する余地があるため、また、例年繰越金があることから、社教連会費値上げは都市社連協予算内で対応することが妥当と考えたため。 |
| | 町田市 | C | 必要な経費削減は最大限行っているとのことだが、現在のように多額の収支差額がある状況では、会費や社教情報の値上げをしても根本的な解決にはならず、数年後にまた同じような状況に陥ることが懸念される。社教連として、真に必要な事業は何か、改めて事業の抜本的見直しをし、現在の収入に見合った支出の範囲内で事業が行えるようにすべきだと考える。 |
| | 日野市 | D | 経費の削減努力を一層行ってもらいたい。毎年赤字を出している決算であるから、まずは事業の改善(身の丈)にあった事業運営を行う計画を立ててもらいたい。その上で若干の値上げは致し方ないとも考えるが、大幅な値上げ(約40%)は現状では認めたくない。 |
| | 多摩市 | C | 収入のうち「社教情報」の値上げがすでに決まっているが、これによる収支変化がどの程度見込まれるかが予想できないため、一定の予算額内に活動費が収まるよう活動の見直しが求められるため。 |
| | 稲城市 | A | 稲城市は回答をAとするが、会費の使用理由を明示する、目的を明確に示すなど、納得のできる情報を提供していただきたい。また、大会の開催期間を短くする、インターネットを活用するなどの時代に即した工夫を行い、経費の削減に繋げるといった運営努力をしていただきたい。 |
| | 小平市 | C | 経費を削減しているように見えるが、まだ無駄があるのではないかと懸念される。足りなくなったから値上げて強制的に支払わせるというのは昔の古い考えがあるのではないかと。会費の値上げや寄付で凌(しの)ぐというのではなく、もっと収益を上げる等の努力が必要ではないかと思う。 |
| 第五ブロック | 東村山市 | C | 現状の中で、出来る範囲で運営する努力をしていただきたいと思えます。 |
| | 西東京市 | B | 会費が不足するというのであれば、値上げはやむを得ないと考えます。しかし、都市社連協の会費の値上げに市が対応できないことが懸念されるため、不足分は予備費より充てることが望ましい。また、予算規模に合わせた大会の開催等、経費削減に向けた取組については、引き続き行うべきである。 |
| | 清瀬市 | B | まずは、予備費より充てて検討し、それでも対応出来ない場合は、都市社連協会費の値上げを検討すべきだと考えます。 |
| | 東久留米市 | | 意見なし |
| | 武蔵野市 | C | 印刷物をネット印刷に変更する・電子化する、広告収入を得るなど経費削減や収入を増加するための努力ができるのではないかと考える。収入に見合った運営にするため事業の見直し等を引き続き行うべきである。 |
| | 三鷹市 | A | やむを得ない値上げと見え、また予備費を食いつぶすのは良くないと考えたため。そのうえで、経費削減の努力は最大限に行ってきた中で値上げだということを、全国社会教育委員連合より説明して頂ければよいと思う。 |
| 府中市 | A | 最大限の経費削減をしたうえで、今後の収支が成り立つ見込みがないということであれば、社連協会費の値上げはやむを得ないと思えます。不足分については2021年度の関東大会等に備えて予備費は残しておき、都市社連協会費を上げることで対応する方がよいと考えます。 | |
| 調布市 | C | 次年度以降、消費税増税及び様々な財政需要に伴い、全庁的に経費削減が求められており、増額要望が厳しい現状にあるため。 | |
| 小金井市 | D | 値上げについて認めないというわけではありませんが、結論を出すのが早急な気がするので、もう少し話し合いを継続する必要があるのではないかと考えます。 | |
| 狛江市 | D | 自分は、市の教育委員会の委員によって社会教育委員という身分となり、また、委員の互選により会議を行う際の委員長となったことで東京都町村社会教育連合協議会の理事にもなっているが、実際に市の負担金(予算)に關与することはない立場である。市民に直接関係のない(一社)全国社会教育連合という任意団体の今後の存続に係る負担金の値上げの是非を回答できる立場にないと思う。また、(一社)全国社会教育連合の「身の丈にあった活動に」という方針と値上げ案は相反しているが、この団体の活動内容に意見を言う立場にも無いと考える。 | |

■回答集計結果

- A : 8市 ※昭島市はAでカウント
- B : 8市 ※立川市はBでカウント
- C : 7市
- D : 4市
- 意見なし : 2市
- 合計 : 29市

会費の値上げに賛成(A+B) : 16市
 会費の値上げに反対(C) : 7市
 ⇒回答のみを見ると賛成が多数

■各市よりいただいた理由総括

- ・会費の値上げはやむを得ない
- ・【青梅市(A)・羽村市(B)・奥多摩町(A)・国立市(B)・日野市(D)・西東京市(B)・府中市(A)】
- ・まずは予備費を充てることを検討すべき
- ・【国立市(B)・八王子市(B)・清瀬市(B)】
- ・Bの対応では予備費が減少し、今後別の対応が必要になる(予備費からの支出は困難)
- ・【青梅市(A)・福生市(A)・羽村市(B)】
- ・都市社連協の会費(25,000円)の値上げは困難
- ・【瑞穂町(B)・調布市(C)】
- ・収入に見合った支出を検討すべき/コスト削減をするべき/事業の見直しをするべき
- ・【あきる野市(C)・昭島市(A)・国立市(B)・武蔵村山市(A)・町田市(C)・日野市(D)・多摩市(C)・稲城市(A)・小平市(C)・東村山市(C)・西東京市(B)・武蔵野市(C)】
- ・経費削減の内容、収入に見合った事業規模に縮小できない理由を明示すべき
- ・【立川市(B)・昭島市(A)・稲城市(A)・三鷹市(A)】
- ・収益を上げるの努力が必要
- ・【小平市(C)・武蔵野市(C)】

- ①理由を見ると全国社会教育委員連合の会費の値上げはやむを得ないとしつつも、「収入に見合った支出を検討すべき」や「経費削減の内容や収入に見合った事業規模に縮小できない理由を明示すべき」、「収益をあげる努力が必要」と回答した市町が多い。
- ②値上げ分について、「まずは予備費を充てることを検討すべき」と回答した市町もあったが、反対に「予備費からの支出は困難」と回答した市町も見受けられた。
- ③都市社連協の会費の値上げは困難であると回答した市町も複数あった。

【会長市事務局としての見解】

- ①会費の値上げをするには全国社会教育委員連合の説明が不十分である。また、都市社連協の会長と事務局(武蔵野市)が全国社会教育委員連合の総会に出席していたが、各理事に配布した資料以上の説明はなかった。また、印刷物をネットプリントやメールマガジンで対応することや、クラウドファンディングや広告収入で収益を増やすことも提案したが、明確な理由もないまま、却下されている。寄付金も募っているが、この用途についても不明瞭である。
- ②予備費から支出を続けると、今後また別の対応を考えなければならなくなる。また、平成33(2021)年度には関東甲信越静社会教育研究大会(東京大会)が控えており、平成30年度から10万円を積み立てている。この積み立てを続けるためには、予備費からの支出は困難である。
- ③都市社連協の会費については、各市町で予算を持っており、これを値上げするためには前年度に予算要求を行い、議会の承認を得なければならない。必ずしも全ての市町で対応ができるものではなく、足並みが揃わない。

⇒都市社連協としては会費の値上げを認めないことを提案する。

4 A:社教連会費値上げを認める。不足分は都市社連協会費を値上げして対応する。(例:一市町1,000円を値上げすると、収入が29,000円増。その分を社教連会費に充てる。)
 2 B:社教連会費値上げを認める。不足分は予備費より充てる。※都市社連協会費は値上げを行わない。
 3 C:社教連会費の値上げを認めない。
 1 D:その他

